

事業所名 グループホーム「和」なごやか

作成日：平成23年 4月 22日

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	年中行事で、地域の子供会との交流会や秋祭り等は参加しているが、普段の生活で近隣の方との交流があまりない。	年中行事のほかにも、自治会等との普段の生活の中での、より日常的な関わりが少しでも増えるよう努める。	・運営推進委員会を開催し、自治会長にグループホームの地域の方との交流がスムーズに出来るようお願いする。 ・定期的に自治会長宅はお伺いし助言をいただく。	・4/28運営推進会議開催 ・1ヶ月(5月末)
2	4	運営推進委員会開催調整中が続き、現状として開催できていない。	H23年2月中の開催を目指して地域や行政担当者と打ち合わせを進める。	4月28日運営推進委員会を開催することに決定した。以降、3ヶ月に1回程度開催できるよう予定を組む。	・4/28運営推進会議開催 3ヶ月
3	6	身体拘束、虐待防止等具体的な行為の中で玄関の施錠についてもあるが、一般家庭でも最近では玄関を施錠していることや、玄関のすぐ前に金魚池があってリスク管理を重視することから、現在常時施錠している。	利用者の意思でない施錠について、見守り、工夫や試みで日中は施錠しないようにする。	10時から15時の間開錠して手動式とし、入居者については、転倒等の危険の大きい人は見守り、心配りを強化する。	1ヶ月
4	10	利用者やご家族の意見、要望をその都度傾聴し応えるようにしているが、特に苦情はなく内容や対応がきちんと記録に残されていない。	ご家族等が遠慮なく要望等を言える雰囲気づくりを進め、ご家族等が知りたいと思われる現状の説明の機会づくりにも積極的に勤めていく。	・市の介護相談員の定期的訪問を依頼し、利用者の話を聞いていただく。スタッフ、ケアマネも、利用者やご家族に不満、要望がないかこちらから伺うことを心がける。対応を記録に残し保管する。 ・ご家族に運営推進委員会の参加ご希望を募り、希望者の方皆様に参加していただく。	・3/22介護相談員訪問実施以降定期訪問を継続。 ・次回推進委員会(2ヶ月)
5	11	月1回のスタッフミーティングや2ヶ月に1回の会議の機会をもうけているが、職員の要望があまり通らない。職員の昼休憩の取り方等改善に向けた検討が十分されていない。	職員の職場改善に向けた検討を積極的に行う。	・職員の職場改善として、定期的に一定の休憩時間をとるように業務規則で決める。	・調整中 3ヶ月
6	23	日々の生活やケアを通して個々の思いや意向を把握するように努めているが、個人的対応になりがちで明確化、記録が十分にされていない。	より良い支援や質の改善が、職員のチームワークを活かして進められるようにする。	・入居者のご希望などに耳を傾けるよう心がけ、その内容を記録し、職員全員で共有する。	1ヶ月

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
7	26	ご家族、必要な関係者と話し合いの場を設け、定期的に介護計画を作成し見直す必要があるが、確実にできていない。	定期的に、ご家族、関係者の話し合いの場を設け、意見、希望を反映した介護計画を作成し、交付承認等の記録を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・チェック表を作成し、定期的にカンファレンスを開くよう日程調整を行い、開催する。 ・計画表を作成し、記録を整備する。 ・計画書の様式に「説明と同意」に加え「計画書の受領」がわかる文言を追加して署名、捺印を頂き交付する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1月より実施している。 ・現在実施中 ・4月交付分より計画書に「受領」の文言を追加する。
8	35	年2回火災予防・非難訓練を実施しているが、施設内だけでおこなっており、近隣の方や、消防署等との協力体制が出来ていない。	消防署立会いや地域の方と協力した訓練を計画に入れて、万が一の際に地域の協力が得られやすい体制づくりを進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・市や自治会に依頼し、消防署、近隣の方の立会いのもと避難訓練を行う計画をたてる。 ・法人に了承を受け、日程を調整する。 	6ヶ月(初冬頃)
9	40	栄養、家庭的な料理を心がけ、夕食は調理専任の職員がおこなっているが、献立は施設側が決めている。食事作りについては、利用者はあまりかかわっていない。嗜好調査も特別行っていない。	食事をより楽しむことを支援する為に、調理や準備、献立等に対して利用者が「ちょっとしたこと」にでも積極的に関わられるよう配慮する。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の食事に関わる希望を積極的に聞き、内容を記録し共有して、実施する。 	2ヶ月
10	49	花見やイベントでの定期的外出や、比較的自立している利用者は、職員と買い物等一緒に出かけたりしているが、不定期で職員が十分付き添いが出来る時しか外出できていない。	季節によっては、より日常的な外出の機会を増やす等、利用者の体調も配慮しながら、「より開放的」な支援に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族にも協力頂き、計画的に個別に外出ができるよう計画し、記録する。 	2ヶ月
11	45	利用者の重度化が進み、車椅子移動の方が半分以上を占めるなかで一般浴槽に入れず、シャワー浴のみを実施している人が増えている。	浴槽に入れる利用者は、極力体調に気を配りながら入っていただく努力をする。重度の方は、清潔保持、安全確保を考慮してシャワー浴を実施していることを、本人、ご家族に了解していただく。	<ul style="list-style-type: none"> ・浴槽に浸かる楽しみ等個々の思いに沿った支援をしたいが、安全面を考慮すると清潔保持を重視してシャワー浴のみのかたもやむ終えないと思われる。将来的には、リフト等設備面の改良もあると思われるが現在はご家族の理解により設備の導入等の計画はない。 	未定

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。